

## 5月20日(土)桜咲紅葉鉄道ダイヤ改正

桜咲紅葉鉄道では5月20日(土)に楓桜本線・節越線・吹谷線・川宿線・楓桜新線・編町線でダイヤ改正を実施し、各列車の接続の改善とラッシュ時の混雑緩和を図ります。

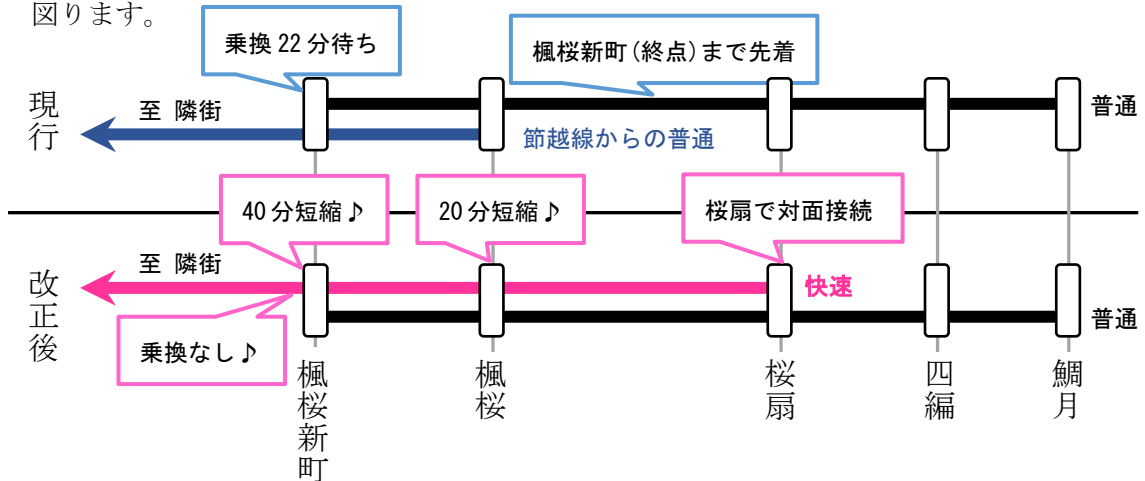
### <ダイヤ改正のポイント>

- 下り線の接続を改善します
- 早朝に「通勤快速」を運行します
- 250系を増備し、混雑緩和を図ります
- 帰宅時間帯の増発を行い、混雑緩和を図ります

### 1 下り線の接続を改善します。

これまで四編方面からの楓桜本線普通列車は、途中駅での優等列車との接続がなく、四編方面からのお客様にとって不便な設定でした。

今回のダイヤ改正では下り線での接続を見直し、桜扇駅において吹谷線から直通してくる快速列車と対面接続を行うことで、楓桜新町駅まで最大40分程度の短縮を図るとともに、鹿澤駅から先の隣街方面への列車の楓桜新町駅でのお乗り換えの待ち時間短縮を図ります。



## 2 早朝に「通勤快速」を運行します。

夕方の帰宅時間帯に運行されている通勤快速ですが、この度、新たに平日早朝の時間帯に上り1本を設定し、早朝の速達サービスの向上を図ります。

新たに設定される通勤快速では金鳥ヶ丘駅と楓桜新町駅でそれぞれ普通列車と接続し、楓桜駅には7時台に到着します。楓桜より先は節越線に直通し、節楓駅まで運行します。



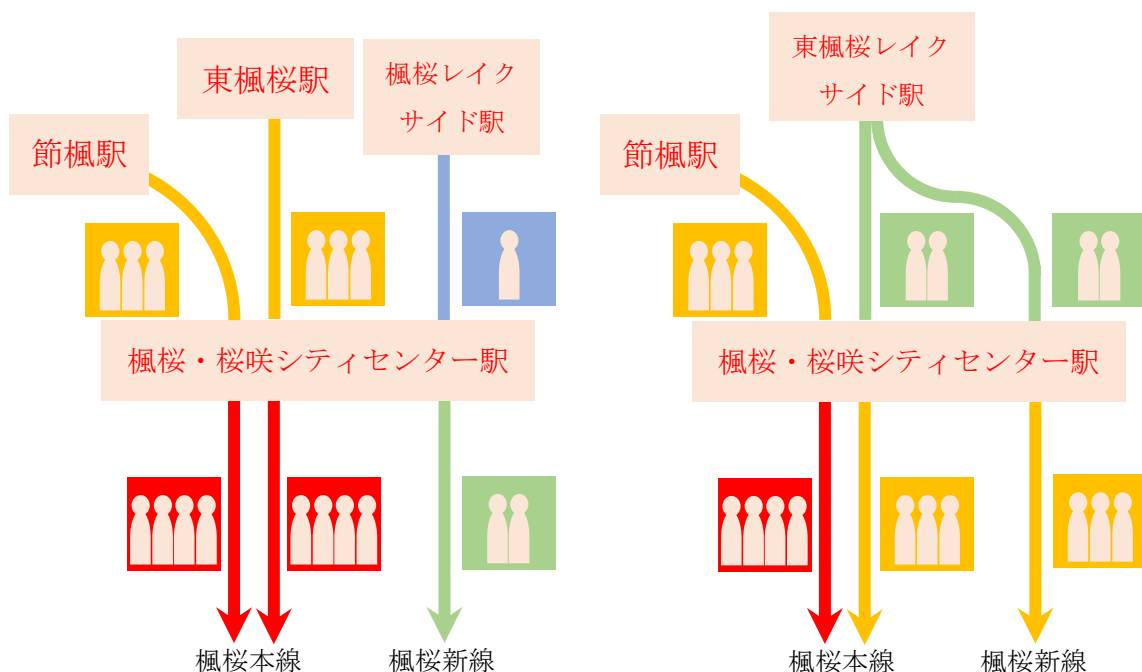
## 3 250系を増備し、混雑緩和を図ります。

近年の緑化実験に伴う地域の開発が進み、中心地である楓桜駅では平日朝を中心に猛烈な混雑が発生し、ホームや車内の混雑による乗降時間・停車時間の増加が慢性的な遅延に引き起こしています。

この改善策として現在運行されていえる220系の車内を改良し、定員を3割増加することができる250系をラッシュ時を中心に運行しております。220系の250系化を進め、ラッシュ時を中心に更に増備していきます。

また、平日の朝ラッシュ時の上り線では、引き続き楓桜新線へのご利用案内を行うと共に、比較的空いている東楓桜レイクサイド駅方面から来る列車を、混雑の激しい節楓駅方面からの列車に充てるなどの対応を行います。

これまでの取り組み：楓桜新線への乗り換え改善による混雑分散



## 4 帰宅時間帯の増発を行い、混雑緩和を図ります。

帰宅時間帯では隣街行の普通列車を中心に混雑が発生しています。朝の通勤時間帯に比べ、220系で運行する機会が多い18時台以降の列車にも250系での運行を増やす他、通勤快速の接続関係の見直しと、上下線の増発をそれぞれ行います。

### 4-1. 通勤快速の接続関係の見直し

現在運行している通勤快速と普通列車の接続は楓桜駅のみとなっています。そのため、遠近分離を目的としている通勤快速に「鹿澤駅」「楓川台地駅」をご利用のお客様は楓桜新町駅での接続列車がないために、楓桜駅から普通列車に乗車せざるを得ない状況のため、通勤快速(450系4両)が空いており、楓桜駅で接続した普通列車(220系5両)で積み残しが発生している状況です。

現状 (18時・19時台の楓桜駅の時刻表)

桜	吹	吹	節	月	18	隣	隣	町	隣
55	38	34	06	03	18	14	18	30	52
		桜	月	越	19	町	隣	隣	隣
		35	10	05	01	20	23	36	53

注釈: 快速(終点まで先着) (隣 52)

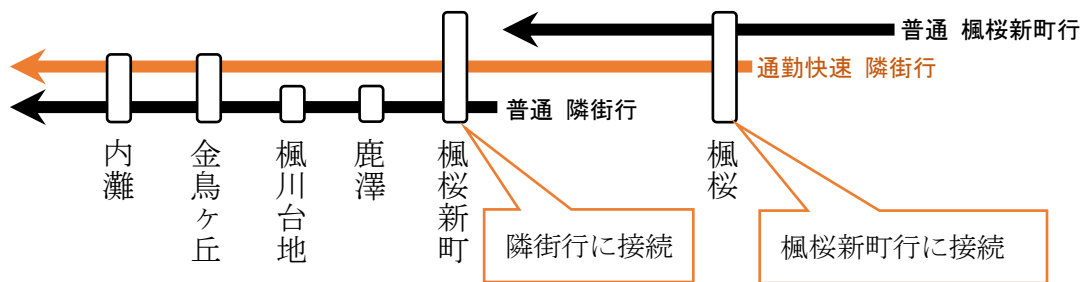
注釈: 1本前は楓桜新町止まり (隣 01)

注釈: 通勤快速 (隣 20)

注釈: 積み残しが発生! (隣 23)

今回のダイヤ改正では通勤快速の接続パターンを見直し、楓桜駅で「楓桜新町行」に、楓桜新町駅で「隣街行」にそれぞれ接続します。通勤快速の接続パターン見直しにより利便性の向上と普通列車の混雑緩和を図ります。

### 改正後 (通勤快速の接続列車)



### 4-2. ラッシュ時間帯のさらなる増発

帰宅時間帯の楓桜駅発着の列車をさらに増やし混雑緩和を図ります。特に19時台の上り線、20時台の下り線でそれぞれ1本ずつ増発すると共に、運転間隔の調整を行い、特定の列車への集中を緩和します。また、22時以降に運行する列車を増やし、深夜帯の利便性の向上に努めます。

※ダイヤ改正の実施日、内容は余儀なく変更する場合があります。